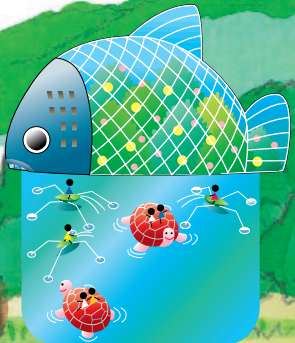
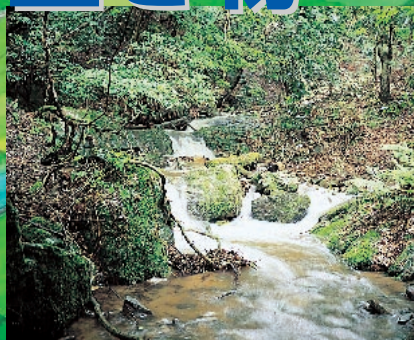


6 大和川の自然と生き物



大和川にはたくさんの生き物があるんだね。



▲上流のようす(春日奥山付近)



スミレ



タネツケバナ

大和川の生き物

中流から下流にかけて、ネズミやカエル、ヘビのなかまが18種、鳥が82種、魚が33種、こん虫が668種、植物が367種の、約1168種ものいろいろな生き物がいます。(「水辺の国勢調査」より)



▲中流のようす(安堵町付近)

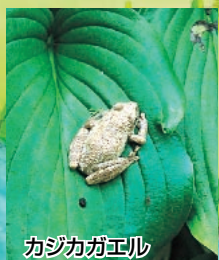
(1) 大和川の自然のようすと生き物 上流

雨水やわき水が集まると、川となって流れはじめます。大和川の上流の奈良県側には、世界遺産となった春日山原生林をふくむ、大和高原や、生駒山地などがあります。

上流には生きた化石といわれるムカシトンボもいます。



サワガニ



カジカガエル



ムカシトンボ



ゲンジボタルの成虫



ゲンジボタルのよう虫



オニヤンマ



アユ



ケイソウ

中流

川の底は浅くなり、すなや小石が多くなって、ところどころ深くえぐられた淵がみられます。また、川原は広くなり、ヨシ、春にはセイヨウカラシナ、秋にはセイタカアワダチソウがむらがってはえています。



モンシロチョウ



ミツバチ



セイヨウカラシナ



クズ



クサガメ



セイタカアワダチソウ



ツクシ

世界遺産

国際連合のユネスコが、人類にとって大切な文化財と自然を保護するために、1972(昭和47)年から始めた事業。日本では法隆寺、白神山地などが指定されています。



シュレーゲルアオガエル



ハグロトンボ



オイカワ



セイヨウタンポポ